

泉南市教育振興基本計画（第3次）

令和7（2025）年度教育重点施策

令和7年2月19日策定

泉南市教育振興基本計画（第3次）（以下「基本計画」といいます。）は、泉南市の「みらい」を創る子どもたちをどのようにして育んでいくのかということを中心に据えています。

子どもたちが自ら宣言した「泉南っ子日本一宣言」で掲げている子ども像を実現するため、フィリピンの学校とオンラインで交流し、また子ども一人一人がタブレット端末で個別相談できるシステムを導入、そしてAIドリルの活用などを進めているところです。

令和7（2025）年度は、「泉南っ子日本一宣言」につながる取組を基本として、きめ細やかな支援体制づくりに向けた新たな取組に加え、昨年度から継続して効果を目指す取組を重点施策へ位置づけます。

泉南っ子日本一宣言

わたしたちは



あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子



チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子



あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子



安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子



海のような広い心をもつ 泉南っ子

をめざします

基本方針 1 確かな学力と豊かな心を育成する

(1) 人権教育の推進と豊かな人間性、社会性の育成（基本計画 P27）



性別、国籍、障害の有無、生まれた環境等に関わらず、自己に誇りを持ち、互いの人格を尊重し合える豊かな関係を育めるよう人権保育教育を推進します。

幼稚園、小・中学校では、社会の仕組みを知り、社会の一員として未来を拓くキャリア教育を推進するとともに、自他の人権を守る実践行動につながるような人権に関する知的理解、人権感覚、意識・意欲・態度を育む人権教育や、規範意識や自他を尊重できる心を育む道德教育を推進します。また、子どもが人権の意義や内容、重要性を理解できるよう、教職員への研修等を通じて人権保育、人権教育の向上を図ります。

令和 7（2025）年度

- 泉南市人権保育・教育基本方針及び同推進プランに基づき、学校園で様々な人権課題についての系統的な取組を推進
- 出合いを通して自分の生き方を考える個別人権課題に関する学習を推進
- 全小中学校において一人ひとりを尊重することや人とのつながりなど、普遍的な人権の課題について学ぶワークショップの実施
- 外国にルーツのある子どもたちに対して母語で話せる語学補助員を配置

(2) 学力の向上（基本計画 P27）



子どもの学力向上に向けて、就学前保育教育においては、保・幼・こ・小の連携による子どもの遊びと学びの連続性を確保しつつ、小学校以降の学習の土台となる学びに向かう力を育みます。また、「確かな学力」の定着を図るため、基礎的・基本的な知識や技能に加えて、思考力・判断力・表現力の育成に努めるとともに、学習意欲の向上と学び続ける姿勢の育成に注力します。特に、言語能力の確実な育成を図る指導や情報活用能力を伸ばす指導の充実を図ります。

令和 7（2025）年度

- AIドリルを活用した家庭学習の充実に向けた取組を推進
- 独自検査の結果を基にした研究機関等と連携した授業改善の取組を推進
- 樽井公民館へ常設の自習室を開設検討

（4）国際交流と外国語教育の推進（基本計画 P28）



関西国際空港の臨空都市として、子どもが今後のグローバル社会に対応し、多様な文化に触れながら豊かな心を育むことができるよう、就学前の段階から積極的に国際交流を推進します。

また、小・中学校では、国際交流を継続しつつ、外国語教育の質を高めて語学力やコミュニケーション能力の向上を目指す施策を推進します。具体的には、JET プログラムの外国語指導助手（ALT）や国際交流員（CIR）を活用して国際交流と外国語教育の取組を積極的に進めます。

令和 7（2025）年度

- 全小中学校においてフィリピンの学校とオンラインによる国際交流を実施
- JET プログラムの外国語指導助手（ALT）を活用した言語活動の充実に向けた取組を推進

基本方針 2 学びを支える教育基盤を整える

（1）学校組織力の向上（基本計画 P32）



学校園長の的確な組織マネジメントのもと、全ての教職員がそれぞれの役割を自覚して参画し、学校園が組織としてより一層効果的、効率的に機能するように組織力の向上を図ります。そのため、教育委員会は学校園と連携し、適時性の高い情報共有を行うとともに、学校園における働き方改革と校務の効率化を支援し、教職員の負担軽減を目指します。

令和 7（2025）年度

- スクールサポートスタッフの配置を継続
- 校務支援システムの導入による効率化の推進

（２）教職員の資質・能力の向上（基本計画 P32）



教育委員会及び学校園は、多様化する子どもや保護者のニーズ、そして社会や教育現場の変革に向き合うことができる資質・能力を備えた教職員を育成するため、オンラインネットワークも活用して一人ひとりが充実した研修を受講し、段階的に着実に力をつけていけるよう、個別にきめ細かな支援を行います。特に、高い専門性が必要な分野については、外部の専門人材を活用した教職員研修に努めます。

令和 7（2025）年度

- 学校教育アドバイザーなどを活用した校内研修等の充実
- 独自検査の結果を基にした研究機関等と連携した授業改善の取組を推進

基本方針 3 安全・安心な教育環境を整備する

（１）子どもが抱える課題に対応できる相談体制の充実（基本計画 P35）



子どもが抱える不安や悩みから生じるいじめ問題、不登校、問題行動等に対し、子どもに寄り添い、丁寧に対処するため、学校園における相談体制を強化するなど心のケアの仕組みの再構築に取り組みます。

また、学校園だけではなく、家庭や地域、あらゆる関係機関と連携し、子どもの命を最優先にして、市民とともに子どもが抱える課題の未然防止、早期発見・早期対応・解決に向けた取組を推進します。

令和 7（2025）年度

- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門人材の活用
- タブレット端末を使用したオンライン相談の実施
- 校内教育支援員の配置の拡充

（2）泉南市立小中学校再編計画の推進と開かれた学校づくり（基本計画 P35）



泉南市立小中学校再編計画の推進に併せて他の公共施設との複合化を検討するとともに、防災拠点や地域コミュニティ拠点となる機能の付加に努めます。

また、学校教育は、学校、家庭、地域等多様な主体が適切な役割を担い、相互に連携することが重要です。学校を核として各主体をつなぐ教育コミュニティの拠点となる開かれた学校づくりに努め、地域や学校が抱える社会的課題の解決を目指します。

令和 7（2025）年度

- （仮称）西信達義務教育学校等整備事業において、児童生徒や教職員の意見を踏まえて施設設計を実施
- （仮称）西信達義務教育学校開校に向けて開校準備委員会を開催

基本方針 4 生涯学習を推進する

（3）スポーツ活動の推進（基本計画 P39）



地域資源を活用したスポーツイベントの実施や支援、国際大会の誘致等、その経緯や協力関係を生かした生涯スポーツ社会の実現を目指します。また、ワールドマスターズゲームズ 2027 関西の泉南大会の成功に向けて取組を進め、個の活用を市民の主体的なスポーツ活動の活性化につなげていきます。具体的には、オープンウォータースイミング大会を核としたマリンスポーツの活性化

を図るとともに、泉南で育った子どもを積極的に応援することによってレベルの向上と、市全体においてスポーツを推進する機運の醸成に努めます。

令和 7（2025）年度

- 泉南スポーツコミッション協会と連携して泉南オープンウォータースイミング 2025 大会の開催
- 泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金制度等の啓発による活用促進
- 市民体育館において、照明器具の LED 化を推進

（5）子どもの居場所づくりの推進（基本計画 P39）



青少年センター、図書館、埋蔵文化財センター等が連携して子どもの居場所を確保し、それぞれの特徴を生かして子どもに多様な体験をさせることによって、社会性、自主性、創造性の豊かな子どもを育むための施策を展開していきます。

令和 7（2025）年度

- 青少年センターにおいて、子どもスタッフを組織して子どもの日常的な居場所として確立
- 信達第二留守家庭児童会の開設に向けた検討を開始
- 図書館において、子ども読書活動推進計画に基づく確実な取組
- 樽井公民館へ常設の自習室を開設検討